



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



報道関係各位  
プレスリリース

2017年8月9日  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパーJSAT株式会社

## 7月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の7月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**大松 尚逸**  
(東京ヤクルトスワローズ)  
初受賞

大松選手は、7月26日(水)明治神宮野球場で行われた対中日ドラゴンズ15回戦、10対10で迎えた10回裏一死走者無しの場面で打席に立ち、右中間へ劇的なサヨナラ本塁打を放ちました。

この試合、東京ヤクルトは6回までに中日打線に10点の大量リードを許す展開となりました。一方、打線は、相手投手の好投に6回まで4安打無得点に抑えられる厳しい展開となりますが、7回に中村選手の2点本塁打でチームに勢いをつけると、続く8回にはバレンタイン選手の2点本塁打を含む8安打8得点の猛攻で同点に迫り、試合を振り出しに戻します。試合はそのまま延長戦に入り、10回表を石山投手が中日打線を3人で完璧に抑えると、その裏、一死走者なしの場面に、代打として大松選手が打席に立ち、初球を右中間スタンドへ運び、シーズン2度目の代打サヨナラ本塁打を放ちました。シーズン2本の代打サヨナラ本塁打は史上4人目で、10点差からの逆転勝利はセ・リーグでは66年ぶりとなるプロ野球タイ記録となりました。

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**J. アマダー**  
(東北楽天ゴールデンイーグルス)  
初受賞

アマダー選手は、7月23日(日)Koboパーク宮城で行われた対オリックス・バファローズ13回戦、2対2で迎えた9回裏に先頭打者として打席に立ち、右中間へ劇的なサヨナラ本塁打を放ちました。

この試合は4回にオリックスが2点を先制。東北楽天は7回まで3安打無得点に抑え込まれていましたが、8回裏に島内選手の本塁打で同点に迫りました。9回表は久保投手が打者3人を完全に抑えると、その裏、先頭打者のアマダー選手は1ボール2ストライクからの5球目を右中間スタンドへ打ち返し、チームを今季3度目のサヨナラ勝利に導くと共に、楽天球団創設初となる勝ち越しを30の大台に乗せました。前日の試合でも3打席連続本塁打を放ったアマダー選手のサヨナラ本塁打により、首位を走るチームは3連勝、久保投手は3年ぶりの勝利投手となりました。アマダー選手のサヨナラ打は来日2年目で初めて。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間スカーパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B. レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B. レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B. レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度		
9月度		



*Nippon Professional Baseball Organization*

Hp: npb.jp



## (参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカーパー!ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)